

2018年度 環境行動計画表

(制定:2018年4月1日)

結城運輸倉庫株式会社

項目(大項目)	2017年度の評価・課題(目的)	2018年度の実施計画(達成目標)	行動項目	達成時期	責任者	取組評価
環境保全の為の仕組み ・体制の整備	2017年度環境行動は実施計画通りに推移し、環境教育を主体に環境行動の意義・必要性を理解した。 ・グリーン経営認証更新審査・定期審査完了。 ・グリーンエコプロジェクト全拠点で活動継続。 ・東京都貨物輸送評価制度☆☆取得	全乗務員対象。年4回、環境教育を実施。該当月の安全衛生会議にて、全社統一の資料を用い行う。	・教育内容 ①「グリーン・エコプロジェクト」活動。 ②車輛の点検整備について。 ③4R(Refuse,Reduce,Reuse,Recycle)の実践。 ④環境法規制。	5月「グリーン・エコプロジェクト」 7月 車両点検・整備 9月 4Rの実践 1月 環境法規制	環境保全推進責任者 環境保全管理責任者(所長)	○
	3月29日_安全方針説明会にて、全管理職へ環境行動計画を説明した。 ・公共の福祉に資する企業として、廃棄物の正しい処理を100%行うことを課題とし、10月の調査で全拠点規定通り正しい処理の実施を確認した。	3月9日_経営方針説明会にて、2018年度環境行動計画を説明する。	・環境方針 ・環境行動計画 ・グリーン経営更新 ・『東京都貨物輸送評価制度』申請。	3月9日_経営方針説明会		
	グループ長定例会議において『CSR環境活動』『環境行動計画』『燃費向上のスキル』『タイヤの空気圧適正管理』を講義。グループミーティングを通じて知識の共有を図った。 関東・静岡_4/26、10/25 東北_4/24、11/10 合計27名参加。	年2回行われるグループ長定例会議にて環境教育を行う。	教育内容 ・CSR環境活動 ・環境行動計画 ・燃費向上のスキル ・その他	グループ長定例会議 開催時期 上期_4月 下期_10月		
エコドライブの実施 (最重要実施項目)	・7月_東京都貨物輸送評価制度『☆☆』取得。 ・2017年度燃費目標_全社平均3.57Km/L達成に向けエコドライブ活動を行った。結果全社平均実績_3.54Km/L(2018年1月末)※2016年度実績_3.53Km/L ・交通エコロジー・モビリティ財団より『エコドライブ優良活動認定証』授与された。 ・安全衛生会議資料の『燃費実績集計表』と、乗務後記入する『走行管理表』を用いて、燃費で「一日の振り返り」をうながす教育を行った。目標燃費は未達だが、年間平均燃費前年比+0.01%達成	・東京都貨物輸送評価制度☆☆☆獲得 また取得した評価を意識する。 ・グリーン・エコプロジェクト活動継続 2018年度目標燃費_3.57Km/L ・『エコドライブ優良活動認定証』取得。 ・『目標燃費3.57Km/L』を達成。 ※過去1年間の全社平均燃費に1%を掛けた値	・2018年度目標燃費達成 最新の評価ステッカーを車輛に貼る。 ・走行管理表を一日の振り返りの材料にする。 ・環境教育内容「グリーン・エコプロジェクト」 ・エコドライブ活動コンクール申請 ・エコドライブ活動の積極的推進により、燃費の向上、燃料費抑制、無駄の排除による省資源化に努める。	3月まで継続して実施。	環境保全管理責任者(所長) エコドライブ責任者	○
	・2017年度_5台のポスト新長期規制車を導入。 ・『低燃費かつ低排出ガス認定』の車両は41台。当社保有車両全体の19.6%となった。	・今年度は6台のポスト新長期規制車を導入し、当社保有車両における「低燃費かつ低排出ガス認定車」の割合を全体の22.4%とする。	・2018年度車輛計画に拠る。	2018年度		
	・各営業所、車両点検予定を一覧表で管理。車検・3ヶ月点検期限、点検入庫予定日を記入し計画的に管理している。点検後完了日を記入し点検漏れを防ぐ体制を整えている。 ・エンジンオイル、オイルエレメント、エアーエレメントも、基準の交換時期を過ぎてしまうことの無いよう工夫して管理し、基準を達成出来た。 ・7月度安全衛生会議にて『タイヤの適正管理』について教育を実施。タイヤの空気圧を適正に維持しない場合の危険性(ハイドロプレーニング現象)を学んだ。	・点検整備基準表に沿った車両点検・整備。 ・基準計画通りに車両点検・整備が行われているか、内部監査時チェックする。 ・安全衛生会議にて、車両点検・整備の教育を行う。	・月次車両自主点検励行。(黒煙濃度、エアコン効き方、タイヤ空気圧) ・エンジンオイル、オイルエレメント、エアーエレメント交換が適正な時期に行われているかをチェックする。 ・DPF,尿素SCR点検を確実に行之、運行中の不具合防止につなげる。 ・教育内容_具体的な車輛点検・整備の方法、注意点について。	点検整備:日常点検、月次点検、点検整備管理表 環境教育:7月 車輛点検・整備		
自動車 の点検・整備	・各営業所、車両点検予定を一覧表で管理。車検・3ヶ月点検期限、点検入庫予定日を記入し計画的に管理している。点検後完了日を記入し点検漏れを防ぐ体制を整えている。 ・エンジンオイル、オイルエレメント、エアーエレメントも、基準の交換時期を過ぎてしまうことの無いよう工夫して管理し、基準を達成出来た。 ・7月度安全衛生会議にて『タイヤの適正管理』について教育を実施。タイヤの空気圧を適正に維持しない場合の危険性(ハイドロプレーニング現象)を学んだ。	・点検整備基準表に沿った車両点検・整備。 ・基準計画通りに車両点検・整備が行われているか、内部監査時チェックする。 ・安全衛生会議にて、車両点検・整備の教育を行う。	・月次車両自主点検励行。(黒煙濃度、エアコン効き方、タイヤ空気圧) ・エンジンオイル、オイルエレメント、エアーエレメント交換が適正な時期に行われているかをチェックする。 ・DPF,尿素SCR点検を確実に行之、運行中の不具合防止につなげる。 ・教育内容_具体的な車輛点検・整備の方法、注意点について。	点検整備:日常点検、月次点検、点検整備管理表 環境教育:7月 車輛点検・整備	環境保全推進責任者 環境保全管理責任者(所長) 点検整備管理者	○
	・各営業所環境保全活動項目②③④⑤を積極的に行っている。	・事務所における環境保全活動推進。 ・安全衛生会議にて環境法規制について教育を行う。	・環境保全活動項目 ①グリーン購入 ②不必要な照明の消灯 ③空調機器を適正温度に設定 ④コピー用紙等の紙使用量の削減 ⑤分別回収ボックスを設置し、分別回収に努める ⑥使い捨て製品の購入を控える	・年間を通じて継続して行う。 ・環境教育:1月 環境法規制		
廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進	・廃タイヤ_(株)国分商会 ・冬用タイヤへの変更は、従来新品のスタッドレスタイヤを必要本数購入していたが、再生タイヤを導入し、リサイクルとコスト削減を図った。 ・廃バッテリー_営業所毎に適正処理。manifestまたは引き取り業者が証明出来る書類有り。	・manifest伝票管理。 ・内部監査時廃棄物処理状況を確認。 ・廃バッテリーについて、適正処理を行っているか確認する。 ・再生タイヤ導入を継続する。 ・全乗務員対象。安全衛生会議にて、リサイクル推進の教育を行う。	・廃タイヤ、廃バッテリー、廃LLC処理に係るmanifestや引き取り伝票の整理、引き取り業者が証明出来る書類を整理する。 ・安全衛生会議にて『4R』について教育を行う。	・年間を通じて継続して行う。 ・環境教育:9月 4Rの実践	環境保全管理責任者(所長) 点検整備管理者	○
管理部門(事務所)における環境保全の推進	・各営業所環境保全活動項目②③④⑤を積極的に行っている。	・事務所における環境保全活動推進。 ・安全衛生会議にて環境法規制について教育を行う。	・環境保全活動項目 ①グリーン購入 ②不必要な照明の消灯 ③空調機器を適正温度に設定 ④コピー用紙等の紙使用量の削減 ⑤分別回収ボックスを設置し、分別回収に努める ⑥使い捨て製品の購入を控える	・年間を通じて継続して行う。 ・環境教育:1月 環境法規制	環境保全管理責任者(所長)	○

○個別的な取り組み

グリーン経営/交通エコモ財団

※更新審査取得目標 栃木営業所、群馬営業所、静岡営業所、藤枝営業所、王子営業所、潮見営業所、五井営業所、鹿島営業所

※定期審査取得目標 秋田営業所、酒田営業所、仙台営業所、小名浜営業所、郡山営業所

グリーンエコプロジェクト／東京都トラック協会

※継続セミナー 本社安全管理部 王子営業所

東京都貨物輸送評価制度

※昨年度以上の星獲得を目指す(昨年度は☆☆獲得)

※達成時期において取組の検証を行い、その結果を○、△、×で取組評価に記載する

(○:実行している、△:ある程度実行している、×:あまり実行できていない)

※この計画表は、本社安全管理部(環境保全推進体制事務局)にて作成し、全社統一のものとする。